

体力・運動能力の向上

【現状と課題】

体力は、人間の活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実に大きく関わっています。

近年の社会環境や生活様式の変化に伴い、日常生活において体を動かす機会が減少していることから、子どもの基礎的な体力や運動能力は低下傾向にあります。また、運動やスポーツに興味を持ち、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化が見られます。

学習指導要領の改訂において、児童生徒の体力の向上がより一層重視され、また、中学校での武道等の必修化が盛り込まれました。

本県の児童生徒の体力は、全国と同様、昭和60年頃から低下傾向にあり、特に反復横跳びや50m走といった敏捷性や瞬発力の落ち込みが大きく、筋力や投げる力、柔軟性については、緩やかな低下傾向にあります。

【これからの施策の方向性】

学習指導要領の改訂における小中学校の体育・保健体育の授業時数の増加を踏まえ、生涯にわたって積極的に体を動かすことやスポーツに親しむ習慣の育成を図ります。

体力テストなどの結果を活用することにより、児童生徒の体力・運動能力向上の取組を推進します。

児童生徒、保護者等へ体力の重要性を理解させるとともに、体力向上に関する意識の高揚を図ります。

武道等の必修化に伴う教育活動が、円滑に実施されるよう取組を充実します。

【主な取組】

運動に興味を持ち、意欲的に運動に取り組む児童生徒を育成するため、体力向上推進校の指定や各種指導者研修会等を開催し、体育指導法の研究などを通して、教員の指導力の向上を図ります。

「一校一運動」の実践や外遊びの奨励など、児童生徒が運動する機会を増やす取組を推進します。

各学校で体力テストの結果を分析し、体力向上についての全体計画を作成するなどして、体力向上の取組を推進します。

児童生徒の体力の実態などをホームページに掲載するとともに、県内すべての小中学校に体力向上のリーフレットを配布し、児童生徒、保護者等の意識の高揚を図ります。

コミュニティスポーツクラブ等への参加を促進し、学校、家庭、地域と連携した体力づくりの取組を推進します。

学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、指導の在り方を改善し、体力の向上を図ります。また、武道等の指導者の資質向上に努めるとともに、我が国固有の伝統と文化であることを踏まえた指導を推進します。